

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- ◆装置を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。（分解・改造は法律で禁止されています。）
- ◆電源プラグは確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属等が触れると火災・感電の原因となります。
- ◆濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因になります。
- ◆雷が激しいときは、電源プラグ、電話回線コードに触れないでください。感電の原因となります。
- ◆表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、付属以外の電源プラグを使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

注意

- ◆装置の電源プラグのコードを熱器具に近づけないでください。電源プラグのコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。
- ◆予備電源を入れるときは、極性表示（＋と－の向き）に注意し、指示通りに入れてください。また、指定以外の予備電源の使用、新しい予備電源と古い予備電源を混ぜての使用はしないでください。
- ◆直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- ◆装置を移動させる場合は、必ず電源プラグ、電話回線コードを抜いてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

概要

本装置は火災通報専用電話機CAPJ001-Rを増設する場合に使用します。
増設装置1台で火災通報専用電話機CAPJ001-Rを最大8台まで接続できます。

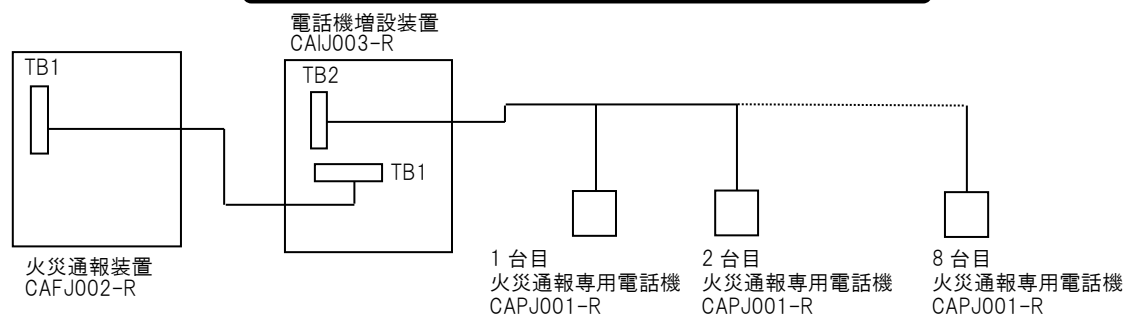
仕様

入 力	1チャンネル
出 力	8チャンネル
スピーカー出力	約200mW
使用電源	AC100V±10% (50/60Hz)
消費電力	動作時15VA以下（最大8台接続時）
外形寸法・重量	315 (H) × 230 (W) × 65 (D) mm 約1.6kg（予備電源含む）
予備電源耐用年数	約3年

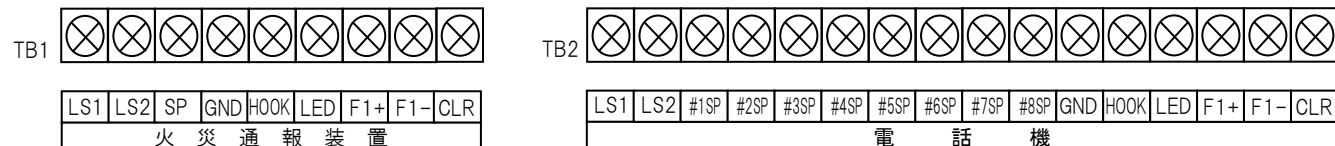
付属品

560Ω 1/2W抵抗	8本
鍵（T-106）	2本
ヒューズ（日本製線：FBR 250V 0.5A 相当品）	1本
ヒューズ（日本製線：FSL 250V 1A 相当品）	2本
電源コード	1本
予備電源（12V, 0.8Ah、鉛蓄電池）	1個
取扱説明書	1部

システム図



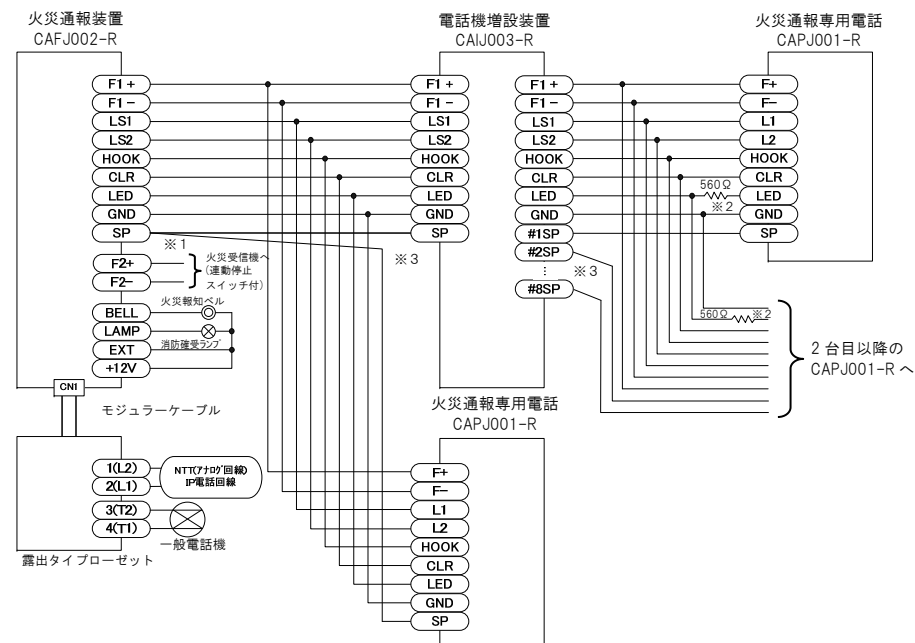
端子配列図



工事要領

- (1) ランプ（LED）電流を制御するため、火災通報専用電話機1台につき必ず1個づつ添付の抵抗（560Ω）を接続してください。
- (2) ボリュームの調整（音量 ボリューム）
基板上のボリュームを右に廻すと電話機の音量が大きくなります。全ての火災通報専用電話機（1台目～8台目）の音量が調整されます。
- (3) 電話機増設装置から最遠端の火災通報専用電話機までの配線抵抗は20Ω以下とします。
- (4) 配線に用いる電線は、HP0.9 または HP1.2 相当の耐熱配線を使用してください。

配線図

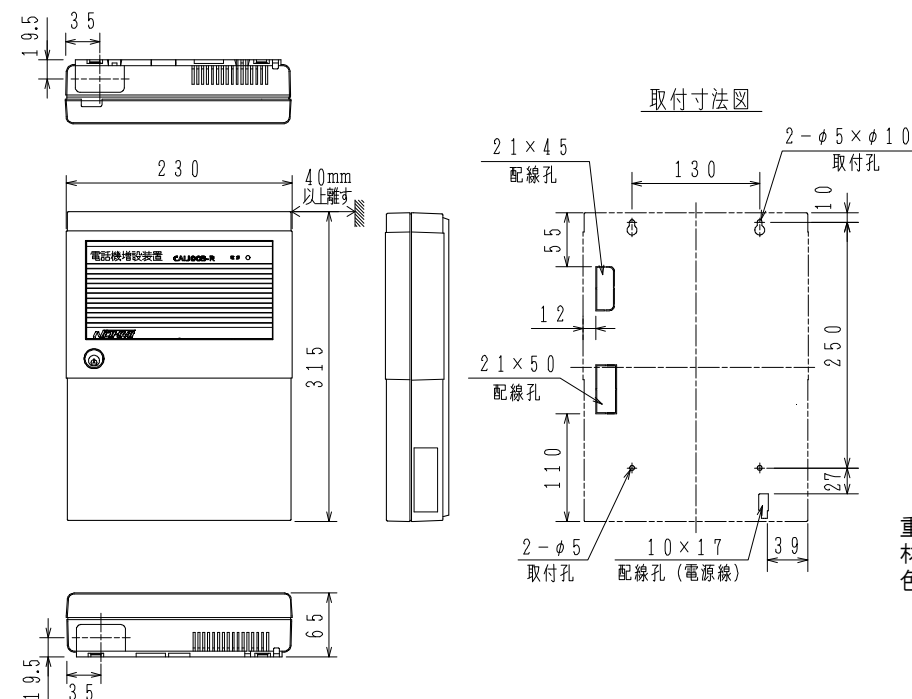


- ※1 短絡監視、または断線監視を有の設定にした場合、付属のダイオードおよび抵抗を入れてください。（初期設定は無し）
- ※2 電話機増設装置に接続された火災通報専用電話機のLED端子に付属の560Ωの抵抗を入れてください。
- ※3 火災通報専用電話機、電話機増設装置1台につき、SP線が一本必要です。

注）電話機増設装置を2台接続する場合の配線図については火災通報装置CAFJ002-R取扱説明書のP.13を参照してください。

取付工事

1.外観・寸法（単位：mm）



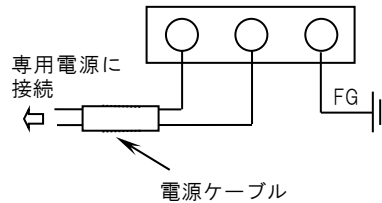
重量 約1.6Kg
材質 難燃性ABS樹脂
色 オイスターグレー（8.9Y8/0.6）

2.設 置

- アンカーボルト（M4）または同等品にて壁面に取り付けてください。
- 壁面強度が弱い場合は補強材を使用してください。
- 壁面に凹凸がある場合はスペーサー等を使用して平行に取り付けてください。
- 本体扉の開閉のために右側に40mm以上のスペースを確保し取り付けを行ってください。
- 露出配線の場合は、本装置の上部と下部にある、膜付グロメットを使用してください。

安全に正しくお使いいただくために裏面の「安全上のご注意」を必ずお読みください

電源の接続



- ・AC100Vは専用電源より配線してください。
- ・接地用端子FGの対地アースはD種とし、接地抵抗値は100Ω以下としてください。
- ・単独アースで接地をお願いします。

注意 本装置のAC電源および電池は、責任者以外ふれないでください。火災・感電・故障の原因となります。

日常点検

電源ランプ

- 電源ランプが点灯しているか点検。
点灯していれば正常に電源が入っています。
- 直射日光が当たっていないか、汚れ・損傷はないか常時点検してください。
- 日常の点検が、緊急時の不動作・遅れ・誤動作等を防ぎます。

異常時の点検と処置

電源ランプが消えている

- [点検]…専用ブレーカーが「切」になってはいませんか？
- [処置]…専用ブレーカーを「入」にしてください。

専用ブレーカーが「入」になっていても電源ランプが消えている
(この場合は保守点検契約先にご連絡ください)

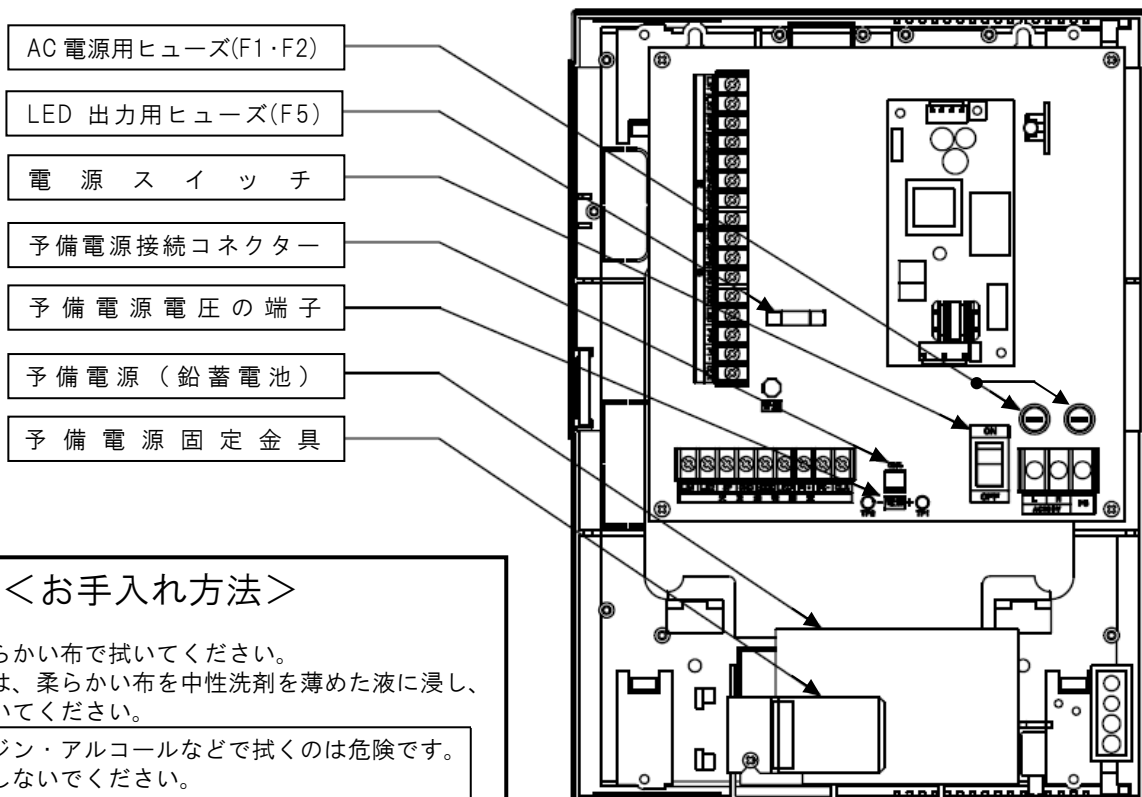
- [点検]…本体内部の電源スイッチが「OFF」になってはいませんか？

- [処置]…本体内部の電源スイッチを「ON」にしてください。
- [点検]…AC電源用ヒューズ(F1・F2)が切れていませんか？
- [処置]…ヒューズ(F1・F2)を交換してください。

火災通報専用電話機の応答確認ランプが点灯しない

- [点検]…本体と火災通報専用電話機の配線がまちがっていませんか？
- [処置]…正しく接続してください。
- [点検]…LED出力用ヒューズ(F5)が切れていませんか？
- [処置]…ヒューズ(F5)を交換してください。

各部の名称



＜お手入れ方法＞

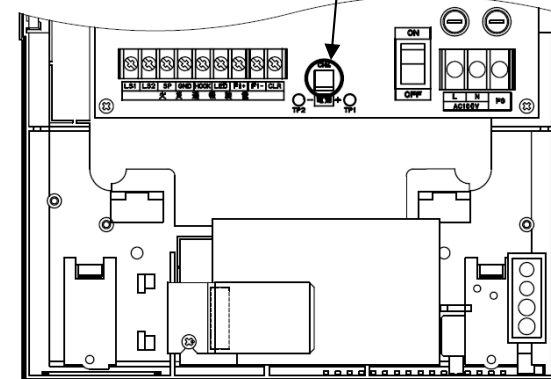
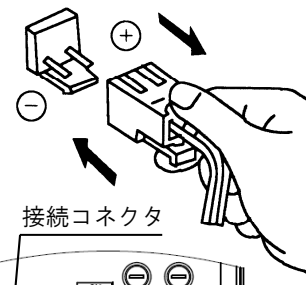
お掃除は、柔らかい布で拭いてください。
極端な汚れには、柔らかい布を中性洗剤を薄めた液に浸し、固く絞って拭いてください。

注意 ペンジン・アルコールなどで拭くのは危険です。使用しないでください。

予備電源の交換

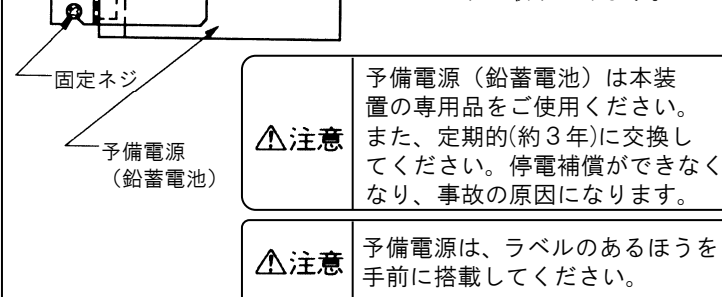
接続コネクタ

- 接続コネクタをぬいて固定金具を取り外し、予備電源を取り出します。
- 新しい予備電源の接続コネクタを差し込み、予備電源を固定金具で固定します。



固定金具

- 固定ネジ(1カ所)をゆるめて固定金具を外し、予備電源を取り替えた後固定金具でしっかりと取り付けます。



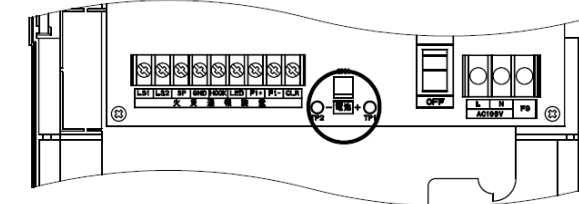
注意 予備電源(鉛蓄電池)は本装置の専用品をご使用ください。また、定期的(約3年)に交換してください。停電補償ができなくなり、事故の原因になります。

注意 予備電源は、ラベルのあるほうを手前に搭載してください。

予備電源の点検

予備電源

- 電源スイッチを「OFF」側にしてください。



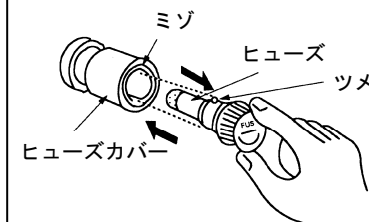
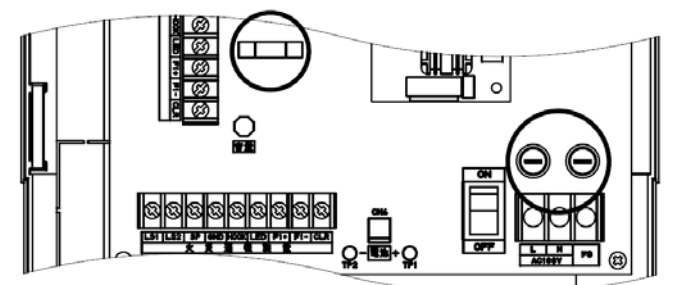
- 予備電源電圧のチェックポイントに、テスターをあてて測定してください。10.5V以上の場合は正常で、以下の場合は異常ですから、予備電源を交換してください。

- 電源スイッチを「ON」側にしてください。

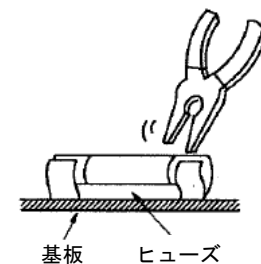
注意 極性を間違わないようにしてください。

ヒューズの交換

ヒューズ



- (1)AC電源用ヒューズ
 - ヒューズカバーのふたを押し込みながら左にまわして抜き取ります。
 - ヒューズをはずし付属のヒューズ(1A)と取り替えます。
 - ヒューズカバーのミゾにツメを合わせ、押し込みながら右にまわして入れます。



- (2)LED出力用ヒューズ
 - はめ込み式で固定されていますのでペンチ等ではずします。
 - 付属のヒューズ(0.5A)をはめ込みます。

注意 ヒューズの交換は電源を切って行ってください。感電のおそれがあります。
ヒューズは必ず同じものを使ってください。発火、故障の原因になります。

連絡先

NOHMI 能美防災株式会社

本社	〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3	TEL. (03)3265-0211
支社	北海道(011)746-6911	東北(022)221-2695
	茨城(029)225-2600	千葉(043)266-0303
	横浜(045)682-4700	静岡(054)247-3211
	金沢(076)252-6211	西(06)6330-8661
	岡山(086)244-4222	九州(092)712-1560
営業所	旭川(0166)355-7824	青森(017)729-0532
	郡山(024)947-1194	福島(024)528-4195
	杉並(03)3306-0451	城東(03)3626-2461
	宇都宮(028)637-4317	群馬(027)328-1567
	沼津(055)923-8669	浜松(053)473-3422
	福井(0776)21-0056	神戸(078)334-3581
	長崎(095)845-0135	熊本(096)360-1051
	鹿児島(099)253-8196	沖縄(098)862-4297
		新潟(025)243-8121
		丸の内(03)3213-1781
		西(048)669-2255
		西(042)643-1520
		長野(026)227-5521
		中国(082)510-1125
		盛岡(019)645-0552
		秋田(018)862-5086
		岩手(019)757-9393
		山形(023)822-3651
		宮城(022)233-5773
		福島(024)444-1450
		茨城(029)583-3344
		栃木(028)583-3344
		群馬(027)583-3344
		埼玉(048)862-4297

URL <http://www.nohmi.co.jp/>

お問い合わせは…